



株主の皆さまへ(株主通信)

2024年度 ご報告

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

 **三菱倉庫**
いつもを支える。いつかに挑む。
Supporting Today, Innovating Tomorrow.

目次

P1	ご挨拶
P2	連結決算ハイライト、株主還元
P3-4	TOPICS
P5	会社の概要

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の業績と今後の見通しについて、その概要をご報告申し上げます。

【当期の業績】

営業収益は、物流及び不動産の両部門で収入が増加したため、全体として前期比295億6千1百万円（11.6%）増の2,840億6千9百万円となりました。

【主な要因】

- 欧米で医薬品・ヘルスケア物流を提供するCavalier Logisticsグループ（2023年10月に連結子会社化）の通期寄与
- 倉庫事業及び陸上運送事業における貨物取扱増加
- マンション販売収入の増加及び不動産賃貸事業における芝浦ダイヤビルディング、神戸須磨シーワールドの稼働

営業利益は、物流部門で減益、不動産部門で増益、全体として前期比13億6千9百万円（7.2%）増の203億1千万円となりました。

【主な要因】

- 海上運賃単価の正常化等に伴う国際運送取扱事業の粗利益減少
- マンション販売事業における利益率の向上

経常利益は、持分法適用関連会社でベトナムにおいて総合物流サービスを行うITL Corporationに係るのれん相当額の未償却残高全額を持分法による投資損失として計上したほか、受取配当金の減少、支払利息の増加等により、前期比57億3千8百万円（23.6%）減の186億2千万円となりました。また親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産処分益、投資有価証券売却益の増加により、前期比40億7千7百万円（14.7%）増の318億6千4百万円となりました。

【新経営計画について】

このたび当社グループは、2030年度を最終年度とする経営計画[2025-2030]を策定しました。

本経営計画では、5つの成長戦略及び財務戦略を推進し、当社グループ事業を非連続に成長させ、2030年度において事業利益（新たな利益目標として設定）630億円程度、純利益410億円程度、ROE10%以上の財務目標をそれぞれ達成することを目指します。

積極的な成長投資と株主還元の一層の充実を図り、政策保有株式の縮減も継続し資本効率を高め、さらなる企業価値の向上に取り組んでいきます。

【2025年度の業績予想】

2025年度の営業収益は当期比約59億円（2.1%）増の2,900億円、営業利益は当期比約3億円（1.5%）減の200億円、事業利益は当期比約60億円（37.2%）増の222億円、



経常利益は当期比約58億円（31.0%）増の244億円、親会社株主に帰属する当期純利益は当期比約85億円（26.8%）増の404億円と予想しています。

【主な要因】

- 物流部門で、倉庫、陸上運送の両事業における重点カテゴリー分野の配送センター業務拡大、港湾運送事業におけるコンテナ貨物の取扱回復、国際運送取扱事業において新規貨物の取扱増加
- 不動産部門でマンション販売事業における販売収入の減少
- 持分法投資損益の改善
- 特別利益で、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益の増加

【株主還元】

2024年度の期末配当金は、1株につき16円とさせていただきました。株式分割を考慮した場合、前年度期末配当金と比べ2円増額となり、また、中間配当金16円を加えた年間の配当金は、前年度と比べ8円増額の1株につき32円となります。

2025年度の配当金につきましては、新たな経営計画[2025-2030]において、経営計画期間中、増配を継続し、2030年度までにDOE（連結自己資本配当率）4%以上とする方針に従い、中間配当金・期末配当金はそれぞれ1株につき18円、年間配当金は、2024年度と比べ4円増額の1株につき36円とさせていただく予定です。

自己株式の取得についても、2025年度は200億円の実施を予定しており、今後もさらなる株主還元の充実を図っていきます。

今後ともなにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

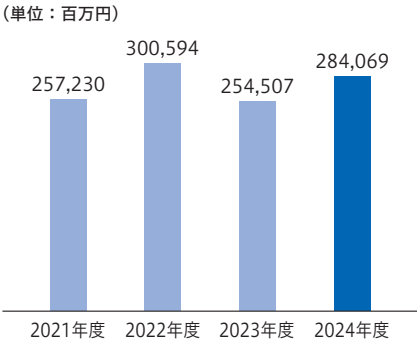
2025年6月

代表取締役 社長

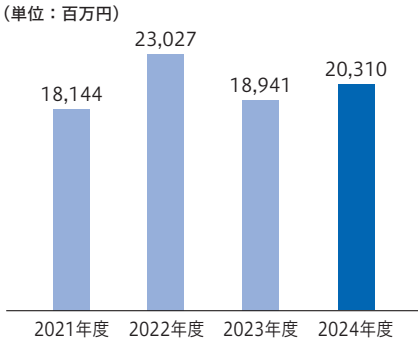
藤 秀 親

連結決算ハイライト

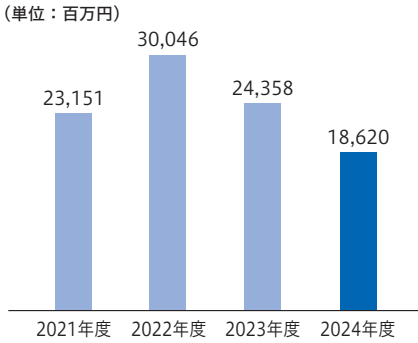
営業収益の推移



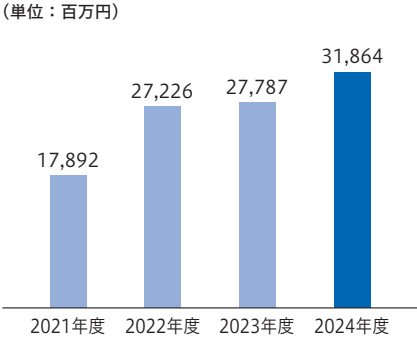
営業利益の推移



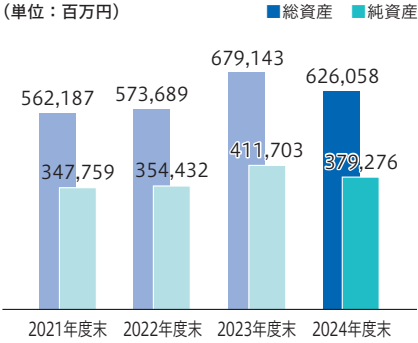
経常利益の推移



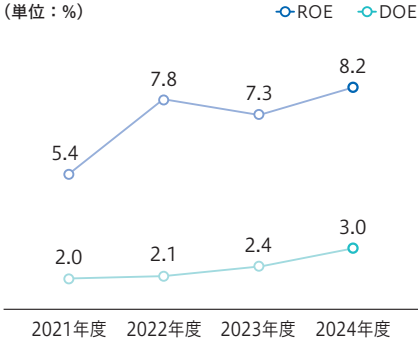
親会社株主に帰属する当期純利益の推移



総資産・純資産の推移

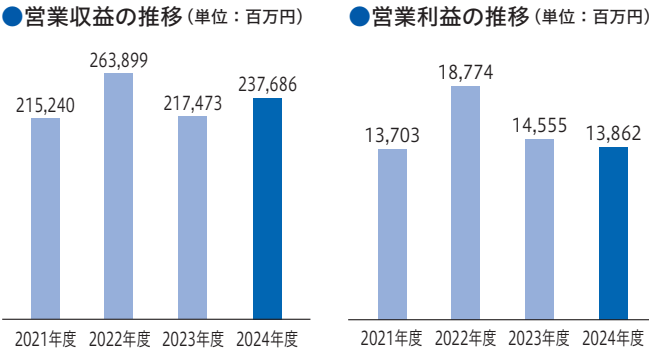


ROE (自己資本利益率)・DOE (自己資本配当率)の推移

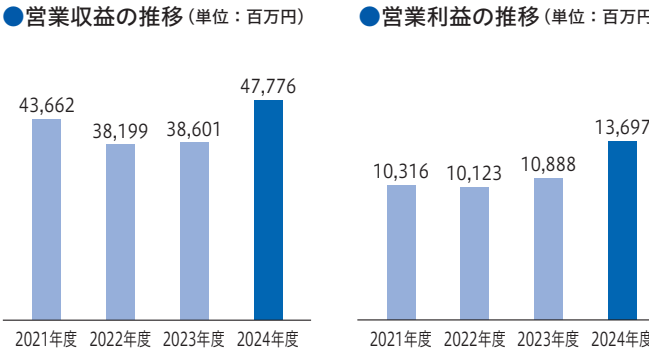


セグメント別状況

物流部門

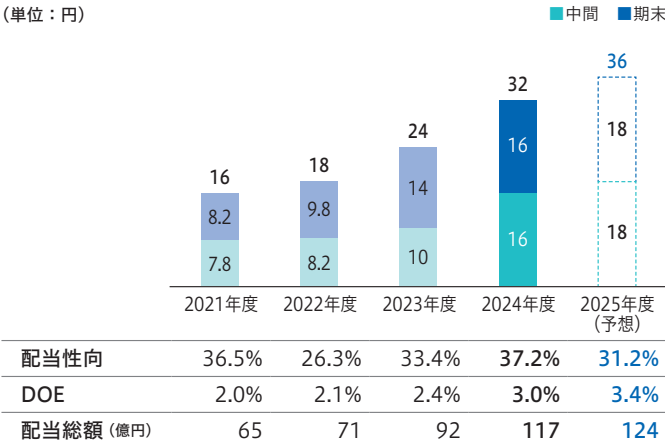


不動産部門

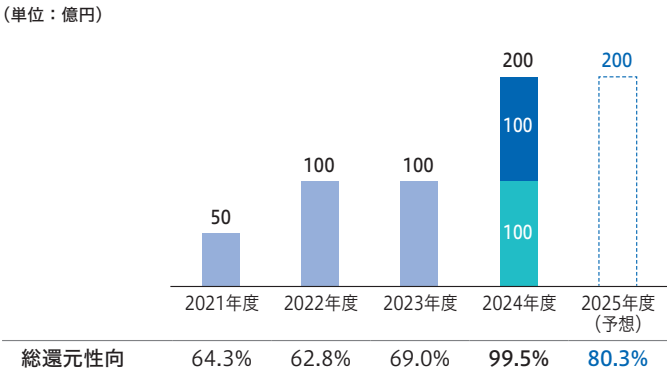


株主還元

1株当たり配当金額の推移



自己株式取得



(注) 2024年11月に株式分割 (1株を5株に分割) を実施しており、過去の1株当たり配当金額も分割後基準で表示しています。

2024年度に策定したグループパーパス「いつもを支える。いつかに挑む。」“Supporting Today, Innovating Tomorrow.”のもと、当社グループは「トータルロジスティクスと街づくりを世界で展開し、社会のいつもを支え、非連続な成長を実現する」を「MLC2030ビジョン」の目指す姿として掲げ、その実現に向けてグループ全体でサステナビリティ経営と経営計画を推進しています。

ビジョン達成に向けた最終フェーズとして、2025年度から開始となる経営計画 [2025-2030] において掲げた5つの成長戦略及び財務戦略を推進し、持続的な成長を図ります。

また、当社グループパーパスを実現するため、そして経営環境の変化に適応しながら、経済・環境・社会の各面で持続可能な価値を提供し続けるためにマテリアリティを見直しました。各マテリアリティにおける施策・KPI・目標を再設定し、MLC2030ビジョンと同じ2030年度に達成することを目指しています。詳細は本年3月に公表した「三菱倉庫グループ サステナビリティ経営について」をご覧ください。

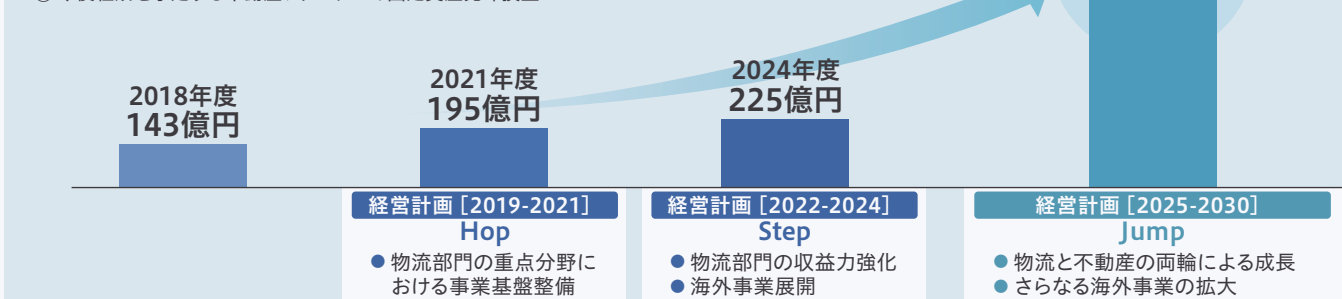


経営計画 [2025-2030] の概要 ●財務目標 (2030年度)：事業利益 630億円程度、ROE 10%以上、純利益 410億円程度

- MLC2030ビジョンの達成に向けた最終フェーズとして財務目標の達成を目指す
- 金額は事業利益（営業利益＋持分法投資損益＋資産回転型ビジネス損益）

※資産回転型ビジネス損益とは以下①②③の損益です。このうち①については営業利益に含まれます。

- ① 売却を目的とした資産の取得による運用損益及び売却損益
- ② 売却を目的とした資産に係る出資による運用損益及び売却損益
- ③ 今後組成を予定する不動産ファンドへの固定資産売却損益



※2024年度の金額はベトナムITL社のれんの一括償却額を除く

- 5つの成長戦略及び財務戦略を推進し、2030年度にROE10%以上の達成を目指す



※CRE (Corporate Real Estate) 戦略とは、企業不動産について「企業価値向上」の観点から経営戦略的視点に立って見直しをおこない、不動産投資の効率性を最大限向上させていこうという考え方



米国Cavalier Logistics, Inc. が新倉庫を運用開始



ダーラム倉庫外観

Cavalier Logistics, Inc. (当社連結子会社) は、米国の医薬品産業の集積地であるノースカロライナ州ダーラム及びニュージャージー州ニューアークにおいて、新たに医薬品用の各種温度帯区画を備えた倉庫の運用を開始しました。

海外の拠点やサービス範囲を拡大し、医薬品市場の変化にも柔軟に対応することで、お客様のサプライチェーン課題に対応する最適なソリューションを提案、グローバルにトータルロジスティクスサービスを提供していきます。



タイでの物流施設開発事業に進出

タイのバンコク近郊において、当社初の海外不動産開発案件となる物流施設の開発事業に取り組みます。

本プロジェクトは、タイの大手不動産デベロッパーで、タイにおいて不動産開発の実績と専門知識を豊富に有するSena Development Public Company Limitedとの共同出資によるもので、開発後の施設は長期保有せず売却し、次の案件に再投資を行うことで資産・資本効率の向上を図る資産回転型ビジネスモデルの一環です。

経営計画 [2025-2030] に掲げる物流と不動産の両輪による成長とさらなる海外事業の拡大に向け、ASEAN、米国、豪州等で物流施設を中心に、マンション、オフィスビルも対象に積極的に海外不動産ビジネスを展開していきます。



Joint Venture Agreement Signing Ceremony



調印式の様子

「DX銘柄2025」に選定

経営トップ主導によるデジタルトランスフォーメーション (DX) 推進、企業内大学の開校や社内新規事業公募プログラム等が評価され、経済産業省や東京証券取引所等が選定する「DX銘柄2025」に選ばれました。「DX注目企業2023」「DX銘柄2024」に続き、3年連続3度目の選定となります。



DX銘柄2025
Digital Transformation

温室効果ガス (GHG) 排出削減目標がSBT認定を取得

当社及び連結子会社が掲げる2030年度までのGHG排出削減目標が、国際イニシアティブであるSBTi (Science Based Targets initiative) から、パリ協定の定める「1.5℃目標」水準に科学的に整合していると認定されました。環境負荷の低い電力の導入、モーダルシフトの推進等により着実にGHG排出量の削減を進めていきます。



SCIENCE
BASED
TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

宇宙関連などの新規事業開発に向けた取組み開始

経営計画 [2025-2030] では、社会課題を解決しながら市場拡大が見込める分野での新規事業開発を行います。その1つとして、創造的復興に取り組んでいる福島県南相馬市との協働により、宇宙関連産業などの次世代産業の開発を支援しています。

昨年10月に同市と締結した連携協定に基づき、当社は物流・不動産事業のノウハウを活かし、インキュベーション施設の運営、研究開発施設・物流関連施設の整備等により、スタートアップ企業や研究機関の活動を支援します。また、これらとの協業を通じて物流関連産業との組み合わせによる新規事業の開発に取り組めます。



インキュベーション施設
(MLC SPACE LAB)



会社の概要 (2025年3月31日現在)

本店及び支店	本店：東京都中央区日本橋一丁目19番1号 支店：東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡
設立年月日	1887年（明治20年）4月15日
資本金	22,393,986,570円
発行済株式総数 （発行可能株式総数）	388,197,695株 (1,100,000,000株)
従業員数	5,004名（連結）、1,009名（単体）

(注) 1 2024年11月1日を効力発生日として1株につき5株の割合で株式分割、また、同年11月14日をもって9,723,500株の自己株式の消却をそれぞれ行っています。
2 2025年4月14日をもって、自己株式の消却を行ったため、発行済株式総数は9,315,400株減少し、378,882,295株となっています。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	67,098	18.6
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	32,437	9.0
明治安田生命保険相互会社	25,768	7.2
三菱地所株式会社	18,327	5.1
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	14,442	4.0
東京海上日動火災保険株式会社	10,205	2.8
株式会社竹中工務店	7,525	2.1
株式会社三菱UFJ銀行	6,469	1.8
三菱倉庫職員持株会	5,559	1.5
戸田建設株式会社	5,387	1.5

(注) 1 当社は自己株式を27,969千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2 持株比率は自己株式を除いて算出しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会権利行使株主 及び期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	6月
中間配当金受領株主確定日	9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電 話（フリーダイヤル）：0120-232-711 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 公告掲載URL https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により 電子公告によることができないときは、 日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)
1 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にでもお取扱いいたします。
3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主の皆さまから、口座を開設されている証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

取締役及び監査役 (2025年6月27日現在)

役 名	氏 名	役位又は主な職業
取締役会長	藤 倉 正 夫	
代表取締役	斉 藤 秀 親	社長
取 締 役	木 村 宗 徳	常務執行役員
取 締 役	山 尾 聡	常務執行役員
代表取締役	前 川 昌 範	常務執行役員
社外取締役	若 林 辰 雄	三菱UFJ信託銀行株式会社特別顧問
社外取締役	北 沢 利 文	東京海上日動火災保険株式会社相談役
社外取締役	内 藤 忠 顕	日本郵船株式会社特別顧問
社外取締役	庄 司 哲 也	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社相談役
社外取締役	木 村 和 子	国立大学法人金沢大学名誉教授
常任監査役(常勤)	斉 藤 康	
社外監査役(常勤)	大 和 正 尚	
社外監査役	佐 藤 孝 夫	公認会計士
社外監査役	倉 橋 雄 作	弁護士
監 査 役	小 高 二 郎	菱倉運輸株式会社常勤監査役

執行役員 (2025年6月27日現在)

役 位	氏 名	担 当
社 長※	斉 藤 秀 親	
常務執行役員※	木 村 宗 徳	経営企画・リスクマネジメント・海外事業・国際輸送事業担当
常務執行役員※	山 尾 聡	経理・情報システム・CRE担当
常務執行役員※	前 川 昌 範	総務・広報・IR・人事・サステナビリティ推進担当
常務執行役員	向 井 隆	不動産事業担当
常務執行役員	川 村 操	港運事業担当
常務執行役員	加 藤 栄 一	ロジスティクス事業担当
執行役員	楠 山 学	情報システム部長
執行役員	栗 俣 力	Cavalier Logistics, Inc. Chairman
執行役員	清 水 健 朗	ロジスティクス業務部長
執行役員	高 間 聡	海外事業部長
執行役員	山 口 義 弘	ロジスティクス営業部長
執行役員	安 部 洋 介	国際輸送事業部長

(注) ※印の執行役員は取締役を兼務しています。



最新の情報は当社ウェブサイト
(<https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>)
でご覧いただけますのでご利用ください。

